

令和4年度使用中学校用教科書

# 選 定 資 料

令和3年7月

尾張東部教科用図書採択地区協議会

# 様式 1

|     |            |         |     |        |      |         |      |
|-----|------------|---------|-----|--------|------|---------|------|
| 種目名 | 社会科(歴史的分野) | 選定替えの有無 | 有・無 | 選定発行者名 | 東京書籍 | 従来の発行者名 | 東京書籍 |
|-----|------------|---------|-----|--------|------|---------|------|

| 発行者<br>観 点          |           | 東京書籍   | 教育出版  | 帝国書院   | 山川出版社   |
|---------------------|-----------|--|---|--|---|
| 1 学習指導要領との関連        |           | 「主体的・対話的で深い学び」へと生徒を導くための内容構成になっている。歴史的事象について考察し、自分の考えをまとめることができるように、学習活動の広がりに対するサポートが配慮されている。「みんなでチャレンジ」で対話的な学びを、「見方・考え方」で深い学びを促す工夫がされている。 | 「主体的・対話的で深い学び」につながりをもたせやすい。「時代の変化に注目しよう」のページで多面的・多角的な見方の育成を図っている。世界の動きと日本の動きを時系列で関連して捉えやすい構成になっており、多面的・多角的な思考力を育む配慮がなされている。 | 単元ごとに、学習内容の特色を、資料などを用いて端的に捉えることができるように工夫されている。歴史的事象について言葉で表現する力の育成が配慮されている。コラムや特設ページで対話的な学び・深い学びができるよう工夫されている。                         | 課題追究学習の設定がされており、生徒が、「主体的に深い学び」が実践できる配慮がされている。豊富な説明や資料によって基礎的・基本的な知識だけでなく幅広い知識や教養が定着できるように編集がされている。各章のまとめのページで振り返りと言語活動の場面を設定している。 |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 |           | 「地域の歴史を調べよう」の箇所では、地域の歴史や文化の調べ学習を通して、課題追究学習を実践することに役立っている。防災・情報・共生・多様性など現代社会につながる事象が多く取り上げられ、愛知県の基本理念「社会に役立つこと」につながる内容となっている。               | 「地域調査の手引き」の箇所では、学習内容と地域社会とのかかわりについて、「歴史を探ろう」では、現代社会の課題でつながることができるよう配慮がされており、目指す「あいちの人間像」につながる内容となっている。                      | 「コラム」や「タイムトラベル」は、学習内容に深みをもたせている。知的好奇心を刺激することで、思考力、判断力、表現力の向上にもつながり、前の時代と比較をして時代の移り変わりを考えさせる活動を通して、多面的・多角的に物事を考察する力を高めることができるよう配慮されている。 | 知識的な内容が豊富に示されており、知的好奇心を刺激する。「地域からのアプローチ」では、多面的・多角的に考察する力を養う工夫がされている。全体的に、外国の歴史を日本の歴史に結びつける工夫がされている。                               |
| 3 内容                | (1) 内容の選択 | 3分野を関連させ、多面的・多角的に考察できるよう配慮されている。地域の歴史を調べるページを配置し、歴史を身近なものとして感じさせるための工夫がされている。  | 歴史を身近なものとして感じさせるための工夫がされている。生徒が関心をもちやすいキャラクターやアイコンが使用され、主体的な学習活動につなげやすいように配慮がなされている。  | 歴史上の人物の業績や文化遺産などを通して、伝統や文化の特色について学ぶための教材が豊富である。地図を多く用い、地理的分野との関連が図られている。歴史学習を大観しできるように、学習内容が構成されている。                                   | 豊富な内容を補するために、用語解説や資料説明等が、効果的に用いられている。美術作品や史料を読み解くことで、現代や地域と歴史をつなげる力を育み、歴史を身近なものとして感じさせる工夫がされている。                                  |

|                         |  |   |  |   |
|-------------------------|--|---|--|---|
| <p>(2) 内容の程度</p>        | <p><b>東京書籍</b><br/>平易でありながら具体的な文章で読みやすい上に、難しい言葉は巻末に用語解説がされ、理解しやすい。写真や資料の大きさ・配置が適切で効果的に学習を進められるよう配慮されている。</p> | <p><b>教育出版</b><br/>日常生活と関連の深い話題や内容が多く取り上げられ、生徒の興味・関心を喚起する配慮がされている。「主体性」をもって、学習に意識を向けやすい配慮がなされている。</p> | <p><b>帝国書院</b><br/>各時代を具体的にイメージしながら楽しく学ぶことができるよう配慮されている。写真や資料の大きさ・配置が適切で効果的に学習を進められるよう配慮されている。</p> | <p><b>山川出版社</b><br/>難しい言葉も同じ頁に用語解説が示されており、理解しやすい。学習内容に沿った資料が多く掲載されている。中世の世界史の記述が詳細で、高校の学習へつながる内容になっている。</p> |
| <p>(3) 内容の構成</p>        | <p>「つかむ・追究する・解決する・まとめ」という学習の見通しをもたせ、「スキルアップ」で、技能を身につけるよう意図されている。色がついた年表により、学習のつながりを感じやすい構成になっている。</p>        | <p>近現代史の学習に重点を置きつつ、日本と世界の歴史がバランスよく配置されている。見開き毎に、学習課題が提示され、「確認!」「表現!」でまとめ、「歴史の技」で、技能を身につけるようにしている。</p> | <p>随所に「タイムトラベル」が配置され、図から時代が俯瞰できるよう工夫されている。事例・資料を通して「多面的・多角的に考えよう」のページで深い学びを進めるよう意図されている。</p>       | <p>各章ごとに「まとめ」として、学習内容を文章で表現することで、学習内容の深化が図られている。「歴史を考えよう」のページで深い学びを進めるよう意図されている。</p>                        |
| <p>4 表記・表現及び使用上の便宜等</p> | <p>UDフォントを採用していて見やすい。カラーバリアフリーにも配慮している。本文と図表の部分の色が区別されていて見やすい。「Dコンテンツ」が効果的に配置されている。</p>                      | <p>UDフォントを採用していて見やすい。カラーバリアフリーにも配慮している。教科書本文や資料説明の文字には、適切な形でルビが付けられている。</p>                           | <p>UDフォントを採用していて見やすい。カラーバリアフリーにも配慮している。地図や図表中の配色が濃くはっきりと分かれており、見やすい工夫がされている。</p>                   | <p>文字を一回り小さくすることで文量を確認し、より丁寧な説明になっている。主題の枠色が、日本史と世界史で色分けされており、学習している時代をつかみやすい。</p>                          |
| <p>5 印刷・造本等</p>         | <p>写真・図版・年表等の資料の印刷が鮮明で見やすい。見開いた時に無理なく広がり見やすい。造本が堅ろうで複数年の使用に耐えうる。</p>   | <p>写真・年表等の資料の印刷が鮮明で見やすい。造本が堅ろうで、氏名欄が3学年あり、複数年の使用に耐えうる。</p>  | <p>写真・年表等の資料の印刷が鮮明で見やすい。グラフや地図の配色が目優しい。造本が堅ろうで、氏名欄が3学年あり、複数年の使用に耐えうる。</p>                          | <p>写真・年表等の資料の印刷が鮮明で見やすい。資料は大きさが適切である。造本が堅ろうで複数年の使用に耐えうる。</p>  |

# 様式 1

|     |            |         |     |        |      |         |      |
|-----|------------|---------|-----|--------|------|---------|------|
| 種目名 | 社会科(歴史的分野) | 選定替えの有無 | 有・無 | 選定発行者名 | 東京書籍 | 従来の発行者名 | 東京書籍 |
|-----|------------|---------|-----|--------|------|---------|------|

| 発行者<br>観 点          |           | 日本文教出版  | 自由社  | 育鵬社  | 学び舎         |
|---------------------|-----------|---|--|--|-------------|
| 1 学習指導要領との関連        |           | 「主体的・対話的で深い学び」に導くような形で、資料、年表、めあて等が配置されている。基礎的・基本的な知識を多面的・多角的に考えて表現する学習を重視した編集がされている。「歴史との対話を未来に活かす」のページが設けられていて、深い学びが実現するよう工夫されている。 | 章末に「対話とまとめ図のページ」「時代の特徴を考えるページ」が配置され、「ひとこと作文」を課すことで、時代の特徴を大つかみでとらえさせるよう工夫されている。政治史だけでなく、文化史や人物・言葉についての学習を充実させ、「主体的・対話的で深い学び」につながりやすい。 | 歴史的事象を身近な課題として捉えることができる工夫がされており、「主体的・対話的で深い学び」につながりやすい。様々なコラムを多用することにより我が国の伝統と文化を尊重し、歴史に対する愛情を育む配慮がされている。身近な教材も取り上げて多面的・多角的な見方の育成を図っている。 | 見本資料なく研究できず |
| 2 「あいちの教育の基本理念」との関連 |           | 「出かけよう！地域調べ」の単元では、それまでの学習内容と、地域の歴史を関連付けて調べることができる。『「歴史との対話」を未来に生かす』では、より良い将来のための必要なことについて考えることができる。                                 | 「地域の歴史を調べる」では、郷土を愛する心情を育てる工夫、「外から見た日本」のページで外国史を日本史に結びつける工夫がされている。近現代史の内容が充実しているため、「社会の担い手となること」につながる内容となっている。                        | 「地域の歴史を調べてみよう」の単元では、調べ学習を通して、課題を設定して、主体的に学ぶことができるように工夫されている。「人物クローズアップ」のページは、愛知県の基本理念「社会に役立つこと」のモデルになり得る内容である。                           |             |
| 3 内容                | (1) 内容の選択 | 基礎的・基本的な内容に加え、「女性史コラム」「地域に学ぶ」のページを設定しつつ、他分野との関連性につなげ、多面的・多角的な思考ができるように配慮されている。  | 写真や史料が豊富であるとともに、脚注が多く、歴史的事実を詳細に捉えることができる。毎時の学習課題と、チャレンジの間で、各単元でおさえたい内容を網羅している。基礎的・基本的な内容に加え、「もっと知りたいコラム」のページで、発展的な内容につなげている。         | 人物の業績や文化遺産などを通したり、「歴史絵巻」を用いたりすることで、時代を大観して捉えることができるように工夫がされ、伝統や文化の特色について学ぶための教材が豊富である。   |             |

|  |                  |   |   |   |            |
|--|------------------|---|---|---|------------|
|  | (2) 内容の程度        | <p>日本文教出版</p> <p>導入の年表等によって小学校での既習事項が確認できる工夫がされている。単元ごとの中心が明確化されており、知識の定着だけでなく、多面的・多角的な見方や考え方を養う工夫がされている。</p> | <p>自由社</p> <p>巻頭に歴史を学ぶ意義や学び方について示されており、学びに向かう力が高められる配慮がされている。各章の導入の「登場人物紹介コーナー」で、小学校での既習人物を年表に配置することで、視覚的に各時代の大まかな流れを捉える工夫がされている。</p> | <p>育鵬社</p> <p>各章の導入で「歴史絵巻」を用いることにより、各時代の大まかな流れを捉える工夫がされている。「このころ世界は」で世界史との関連を図って学習を進められるよう配慮されている。</p>      | <p>学び舎</p> |
|  | (3) 内容の構成        | <p>年表を用いることで歴史のつながりを感じながら時代の特色をまとめることができる構成になっている。「学習の整理と活用」のページで、学習の振り返りや時代の特色を捉えることができる。</p>                | <p>各章の始めに年表と既習内容の資料が提示され、時代の特色を捉えるように工夫されている。「復習問題のページ」で学習の定着を確認できるようにまた、「調べ学習のページ」で、身近な題材を歴史事象へつなげる工夫がされている。</p>                     | <p>近代以降が重視された構成となっている。各章の導入「鳥の目で見える」「虫の目で見える」で巨視的・微視的に概観し、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、「表現する」形で、問題解決型学習の構成になっている。</p> |            |
|  | 4 表記・表現及び使用上の便宜等 | <p>UDフォントを採用していて見やすい。カラーバリアフリーにも配慮している。適切な形でルビが付けられている。本文中における補足説明や図表の番号が分かりやすい。</p>                          | <p>難しい用語の解説が同じページに記載されていて便利である。「世界各国・王朝の興亡一覧」「元号→西暦早見表」は活用の仕方によっては有益である。適切なルビや本文中における脚注や図表の番号が分かりやすい。</p>                             | <p>歴史モノサシが見やすい。資料やイラストが大きく色が濃いめに配されており、視認性が高い。固有名詞などには適宜ルビを振られ、難易度の比較的高い語句も、解説でわかりやすくなっている。</p>             |            |
|  | 5 印刷・造本等         | <p>写真・図版等の資料の印刷が鮮明で見やすい。造本が堅ろうな作りで大きく開き、閉じにくい設計になっている。複数年の使用に耐えうる。</p>  | <p>写真・図版等の資料の印刷が鮮明で明るい。特に地図やイラストの発色がきれいで、見やすいように配慮されている。造本が堅ろうで複数年の使用に耐えうる。</p>   | <p>写真・図版等の資料の印刷が鮮明で明るくメリハリある色彩デザインである。造本が堅ろうで複数年の使用に耐えうる。</p>   |            |